



発行所 国鉄労働組合  
盛岡地方本部  
発行者 齋藤庄司  
編集者 沢田光広  
TEL 019-622-5021  
メールアドレス  
numori@poem.ocn.ne.jp

2011.11.10  
第1439号

# 大会 特集号

## 第67回定期地方大会

# 組織拡大に全力で取り組む

## 「3・11」大震災でも多くの報告や意見

地方本部は、第67回定期地方大会を10月16日・17日に青森市の浅虫温泉・南部屋で関係者約100人が参加の中で開催した。  
経過・方針での討論では16人が発言し、3・11東日本大震災関係、厳しさを増す職場の労働条件、貨物会社の実態などの報告や不採用事件の終結問題、組織拡大の取り組みなどについて報告され議論が行われた。

そして、向かう一年間①不採用問題の終結を受け、その運動を地域の運動の中に生かしていく②安全・安定輸送を目指し、労働条件の改善と技術継承に取り組んでいく③安全で平和な社会の実現に向け、地域の仲間と共に政治闘争を強化していく④最重要課題の組織の拡大に全力をあげて取り組むことなどの意思統一を図った。  
今大会は地方役員改選の大会で、齋藤庄司委員長をはじめ9人の役員が選出された。



大会は、約100人の参加で開催された(浅虫温泉・南部屋)

## 畠山、松橋氏 議長団で進行

大会は、13時に阿部副委員長の開会挨拶後、震災での組合員犠牲者に黙とうを捧げ、代議員43人中41人の出席を確認し大会の成立を宣言。議長に畠山孝代議員(北上工務分会)、副議長に松橋隆代議員(八戸工務分会)を選出、挨拶を受け議事が進められた。

最初に齋藤委員長が執行委員会を代表し挨拶。続いて江良實青森平和労組協議議長をはじめ多くの来賓の方々から激励と支援・連帯の挨拶を頂いた。その後、中堤執行委員がメッセージの紹介と日程を説明。菊池執行委員が大会期日の延期承認を提案、承認され、選挙管理委員会の設置を確認、協約・協定締結を

佐々木書記長が提案、承認。経過の報告と2011年度の運動方針の提案を書記長が行い経過の質疑へ、5人の発言と答弁で承認された。引き続き小林副委員長から決算報告、山川会計監査員の監査報告で決算を承認。国労会館などの事業報告が三浦職員から行われ、機関紙表彰に入り、最優秀賞の気仙沼地域分会など5分会を表彰。佐々木喜一選挙管理委員長(北上工務分会)から地方役員・委員の告示が報告され一日目を終了した。

二日目は、9時40分に再開し組織検討委員会答申が承認され、方針の討論に入った。討論では、11人が3・11大震災、労働条件、組織拡大、昇進試験問題などで発言。中間と佐々木書記長の集約答弁が行われ、拍手で方針が原案通り確立された。その後、小林副委員長が予算案を提案、承認され、組織検討委員会の設置を確認し昼食へ。

## 齋藤委員長あいさつ(要旨)

地方闘争委員会を代表し挨拶を申し上げます。  
四半世紀に及ぶJR不採用問題は、雇用問題が残されていますが、混迷する政局や3・11東日本大震災、頑なに雇用を拒否するJR各社の現状の中、様々議論を経て闘争



団当事者の結論を尊重し、7月の第80回定期全国大会で闘争の終結を確認した。長年に渡るご支援に感謝する。  
3・11東日本大震災は、甚大な被害をもたらした。陸前高田駅に勤務中の熊谷秀三さんが亡くなられ無念、ご冥福を申し上げます。家族を失った組合員、被災された組合員にお悔やみとお見舞いを申し上げます。鉄道復旧は、清野社長の言うように時間がかかるとは思いますが、盛岡支社に働きかけていきたい。貨物

の石油輸送は鉄道の優位性を知らしめた。上部機関とも連携し貨物会社の発展に取り組む。福島原発事故、脱原発の運動を進めたい。  
安全・安定輸送確立と労働条件の改善に向け、安全総点検・仕事総点検運動を取り組み、若い社員への技術継承を図り、安心して働ける明るい職場づくりを先頭になり取り組んでいこう。新人事・賃金制度については、様々な問題点があり、東日本本部と連携しより良いものにするために改善に取り組む。

組織拡大は喫緊の課題、守るのではなく攻める気持ちを大きく持ち、遠慮することなく、躊躇することなく、心配することなく、国労加入の取り組みに大きく踏み出すことをお願いしたい。  
最後に選挙闘争、大震災により統一自治体選挙が統一しできなかった。青森県議の奈良岡克也さんが惜敗、矢野町議の山崎道夫さん、岩手県議の木村幸弘・久保孝喜さんが2度目の議席を確保、支援に感謝したい。来春の北上市議選に星敦子さんが3度目の議席確保にむけ立候補を予定、取り組みをお願いしたい。闘いの先頭たち頑張る決意を述べ挨拶とする。

## 厳しい職場実態、組織拡大 不採用事件の終結で討論

### 「方針の討論で11人が発言」

方針では、11人が発言した。要旨は次の通り。  
◇ 岩脇勇代議員 (盛岡運輸区分会)  
震災時の自宅待機などが続いた労働時間の扱いはどうなっているのか。  
震災時、東京などに3日間足止め、食事が出たが、後

日返納を求められた。  
▽エルター社員雇用先、一カ月前の人が決まっていない。  
◎照井幸男代議員 (北上駅連合分会)  
震災時の気仙沼地域分会の情報を見て、機関紙の大切さを痛感している。  
▽地方線、第3セクター鉄道など維持・存続を求めるシン

ポジュウムの開催を。▽採用差別事件終結、後世に残る闘い自信を持ってほしい。終結時の議論がほしかった。事業体への支援も大切だ。▽連合加盟問題、時期草々と思う。国労の組織問題も抱えると思う。  
▽国労の車掌にも新採の見習い、会社の対応も変化、組織拡大に繋げたい。  
◎工藤達二代議員 (青森施設分会)  
地震支援カンパ、全員が協力してくれた。東労組は被災地でボランティアを取り組んでいっているのか。  
▽工事テーブルが忙し過ぎる。サービス労働の実体がある。調査し申し入れてほしい。  
▽分会機関紙の発行を約束する。

## 来賓・メッセージ

【来賓】(挨拶順)

江良實青森平和労組協議議長、三上武志社民党青森県連合幹事長、吉俣洋日本共産党

青森県委員会書記長、山内裕幸青森県交運労協議長、竹内隆東北労働金庫青森本部副

県本部部長、佐藤勝雄交運共済東日本事業本部東北支所副

長、地方議員団(星敦子北上市議会市議会議員、山崎道夫矢野町議会議員)、佐々木香代子地本家族会会長

◎立花寿代議員 (盛岡駅連合分会)  
来年3月31日でもし券を廃止すると点呼で言われているが、点呼でも具体的内容がな



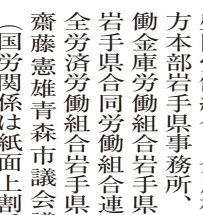
江良實青森平和労組協議議長



山内裕幸青森県交運労協議長



高野早苗東日本本部委員長



齋藤憲雄青森市議会議員、(国労関係は紙面上割愛)

## ていこう

先日、「福島原発と再生可能エネルギー」をテーマにした講演を聞いた。講師は、「反核燃」闘争を闘い続けている青森の山田清彦さんだ。この講演で知ったことは、「原子力」核についてはほとんど知らなかったということだ。「核兵器」には関心を持ったつもりでいるけれど、同じ「核」を扱う原子力発電所や核燃施設についてはどれだけの関心を寄せてきたのだろうか。原発に対する漠然とした不安を具体化しようとした不安を具現化した。不安を具現化した不安が立つ。福島第一原発からの放射能放出が続いている。スリーマイル島では16時間、チェルノブイリでは6日で止め得たものが、原子力技術が優秀な「東京電力」は7か月過ぎても止められない。こんな人達に原子力を動かす資格があったか疑問だ。指摘の通りだ。現在、六ヶ所再処理工場には240mの高レベル放射性廃液が貯蔵されている。この施設で事故が発生し放射能が拡散すれば、私達にも高濃度の放射能が降りてくることを意味する。しかもその施設の下には活断層が走っていることを考えると、その危険性は低くはないのだ。原子力発電は安くて環境に優しいというのも怪しい。小出裕章さん(京都大学助教)によると「開発や立地」に支出される費用や再処理の費用を加えると、火力・水力より高い。また、ウラン採掘から原子炉で使える燃料棒にする過程でかなりの二酸化炭素を排出する」という。原発事故の不安や恐怖は大きい。でも小出氏が言うように「起きた過去は変えられないが、未来は変えられる」のだ。その絶好の機会が今訪れている。(髭)

〔前ページから続く〕

●高森英明代表議員  
〔青森駅連合分会〕

▽脱原発の闘いを労働組合として強化してほしい。  
▽採用差別終結、雇用確保の結果は残念だが、矜持を選択した闘争団と思う。JALなどの闘いと連携を。  
▽分会で組織拡大対策会議を地本から入ってもらい開催、意思統一はできていない。過去2人の加入者は、転勤させられている。フォロワーも含め取り組む。

▽知は力という、労働者教育講座開催の検討してほしい。  
●川原昭特別代表議員  
〔運輸協議会代表〕

▽大震災後の復旧、社長は責任を持って行くと云っているが、組合としてしっかりと監視の取り組みと地域での線路を守る集いの開催などで世論喚起が必要だ。  
▽検修合理化、ほとんどを外



熊谷泰幸代表議員 (気仙沼地域分会)



高橋清光代表議員 (青森運輸分会)



高橋涼特別代表議員 (貨物協議会代表)

### 経過で5人が発言／答弁受け承認

経過では5人が発言し、執行部の答弁を受け承認された。要旨は次の通り。

●熊谷泰幸代表議員  
〔気仙沼地域分会〕

○3・11大地震、正に青天の霹靂だった。全てが麻痺。熊谷秀三さんの死が残念。  
○地震時の勤務指示、会社の対応がためらわれた。  
○線路復旧の目処は立たず、廃止論、ルート変更なども

●笹山賀庸代表議員  
〔八戸工務分会〕

▽注化する計画のものが。東労組は、交渉に入っているというが、国労の状況はどうか。  
●高橋清光代表議員  
〔青森運輸分会〕

▽一括和解後、主任職に5人指導職5人が合格しているが、受験しない組合員もいる。受験体制の確立も大切だ。  
▽エルター社員制度、労働時間短縮が必要。パートナリ会社の統一した労働時間にする運動を大切だ。  
▽検修合理化、職場で自分残れるのかなど話題になっている。労働条件、技術継承含め取り組む。

●工藤賢二代表議員  
〔盛岡施設分会〕

▽震災時の新幹線関係点検、暗闇の中だった。危険な状況明るくなつてからでもよかったと思う。  
▽昇進試験、6か月研修後の若手社員が受験し合格、おかし問題だ。

▽テーブル定数問題、1人が研修中でも同定数で仕事をさせられている。定数問題はどうか。  
●大平四郎特別代表議員  
〔工務協議会代表〕

▽脱原発の運動、自分自身や労働組合として地域の中で不足していたと痛感している。運動の強化が必要だ。  
▽昨年の12月4日以降、工事2、残業、休日出勤が続いている。管理者は、残業するなど云っているが、東労組の人が体調を崩している。その仕事を国労組合員に押し付けている。

▽安全・企画課が機能していない。交渉での改善を求めてほしい。  
●前田素行代表議員  
〔八戸運輸分会〕

▽昇進試験、業務知識の選択に矛盾がある。業務上選択するものがない。元職関係で受験し不合格だ。

### 四半世紀の闘いに感謝 今後地域の中で頑張る

不採用事件の終結を受け、金児順音威子府闘争団団長

●統一地方選挙の総括は。〔執行部答弁〕

○震災時は皆さんは本当に頑張った。組合員の支援に感謝したい。  
○勤務問題、会社へは常識対応を求めた。  
○復旧は難しい面も多々あるが、県議2人も相談し取り組む。職場の確保にも

○エルターの職場確保に全力。

▽退職者を送る会など、小分会への補助はできないか。  
●高橋涼特別代表議員  
〔貨物協議会代表〕

▽貨物会社社員賃金厳しい、春闘での闘いの強化を。  
▽合理化で転勤、通勤、単身赴任などの実態、通勤費の関係で、年金カット嘱託職員の組合員も、地元での雇用確保

●もし券の問題、交渉事項でないというが本社でも扱っていない。  
○検修合理化、東日本も今月末から交渉に入っていく予定になっている。  
○組織拡大にむけ4分会で対策会議を開いている。他の分会も開き議論を進めてほしい。

○震災時の労働時間問題は問題点を出してほしい。会社に出していく。  
○地方線問題のシンポジウムは検討する。  
○採用差別問題、闘争団の苦

### 執行部東日本本部 中間答弁(要旨)

●被災地へのボランティアは、地区での取り組みに参加してほしい。

○工事チームのサービス労働、支社に申し入れ解消に努力していく。  
○もし券解消、新たな出向先エルター社員の問題もある。支社に対応を求めよう。

○労働者講座は、検討する。  
○再生可能なエネルギーの闘いは受け止めていく。  
○昇進試験、係職の人の受験を勧めたい。矛盾点は会社に求めていく。

○エルター問題、東日本本部と連携し改善に努めたい。  
○検修合理化問題、東日本本部とも連携、地本の対策委員会でも相談し対応していく。  
○安全の担保については支社に申し入れていく。  
○厳しい貨物問題、貨物協とも連携し取り組む。

が重要だ。  
▽平成採用者が半数を超えている。組織拡大に全力で取り組みたい。  
▽大震災時の石油貨物輸送、鉄道の底力をみた。鉄道員として誇りに思う。  
▽17回目のキャンプを今年も開催できた。来年は、組織拡大し開催したい。

●被災地へのボランティアは、地区での取り組みに参加してほしい。

○工事チームのサービス労働、支社に申し入れ解消に努力していく。  
○もし券解消、新たな出向先エルター社員の問題もある。支社に対応を求めよう。

○労働者講座は、検討する。  
○再生可能なエネルギーの闘いは受け止めていく。  
○昇進試験、係職の人の受験を勧めたい。矛盾点は会社に求めていく。

### 地域、共闘の仲間と闘いの強化を 労働条件の改善に全力で取り組む

〔JR不採用問題終結後の闘い〕

当事者の皆さんが分析し判断した「終結」という苦渋の決断を、先の第80回定期全国大会で確認した。多くの皆さんの支援に感謝し、闘いの教訓と団結の重要性を全国の仲間、地域の皆さんに引き継いでいこう。同時に共闘・地域

の仲間が闘っている問題などに積極的に関わり、支援することが課題です。「連合」との関係の強化も求められています。帯広・音威子府事業体の物品購入は協力を。  
〔一括和解以降の職場の取り組みと労働条件改善、安全・安定輸送の確立の闘い〕

一括和解から4年が経過した。差別などが全て是正されていない。しかし、昇進試験

## 地方役員改選 齋藤委員長はじめ 新役員9人を選出



写真右から齋藤、阿部、小林、佐々木、沢田、菊池、小笠原、山川、高橋の新役員

〔新役員体制〕  
●執行委員長(専従) 齋藤 庄司(再任)  
〔盛岡運輸区〕  
●執行副委員長 阿部 一久(再任)  
〔八戸運輸区〕  
●執行委員長(専従) 佐々木 力(再任)  
〔盛岡保線技術センター〕  
●書記長(専従) 小笠原 勝彦(新任)

●執行委員 沢田 光広(新任)  
〔出向・仙建工業/八戸〕  
●監査員(花輪線地域分会) 菊池 要悦(再任)  
〔盛岡駅〕  
●会計監査員 高橋 亮一(再任)  
〔新花巻駅〕  
●執行委員 山川 治(再任)  
〔青森車両センター〕  
●書記長(新任) 小笠原 勝彦(新任)  
〔盛岡駅〕

●執行委員 田中光会計  
●監査員(花輪線地域分会) 菊池 要悦(再任)  
〔盛岡駅〕  
●会計監査員 高橋 亮一(再任)  
〔新花巻駅〕  
●執行委員 山川 治(再任)  
〔青森車両センター〕  
●書記長(新任) 小笠原 勝彦(新任)  
〔盛岡駅〕

## 2011年度 地方委員14人を選出

2011年度の地方委員14人は次の通り選出された。  
●〔盛岡支部〕9人  
近藤 信博(盛岡駅連合分会)  
岩脇 勇(盛岡運輸区分会)  
荒矢 美登(盛岡施設分会)  
館川 幸也(盛岡貨物分会)  
藤島 優悦(花輪線地域分会)  
佐々木照喜(北上駅連合分会)  
佐々木睦美(北上工務分会)  
熊谷 泰幸(気仙沼地域分会)  
留場 義継(宮古地域分会)  
●〔青支部〕5人  
高森 英明(青森駅連合分会)  
野坂 均(青森運輸区分会)  
殿村 祝詞(大湊地域分会)  
笹山 賀庸(八戸工務分会)  
加藤 寿(八戸貨物分会)

### 「交通基本法」の制定も含め、政策提言の実現のため運動を進める

〔政治闘争の強化の闘い〕  
国民投票法の施行、改変された防衛大綱など改憲機運が高まっている。福島原発事故での放射能汚染がなお拡散している。人間は「核」とは共存できないこと、安全で平和な社会の実現と未来を守るため、平和環境岩手県センター、青森県平和労働組合や政党、共闘組織などと連携し運動を強化する。

〔組織強化・拡大の闘い〕  
地本の組織は一定程度あるが、会社への影響力を高めることが健全な労使関係を確立し差別は正に繋がる。不採用問題の終結で、係争事件が解決し他労組と同じ土俵に立つた、職場で仕事を通じて国労運動を理解してもらい、共闘していただくことで国労に迎えられることができると確信する。「一歩前」に出る「取り組」を進めよう。

〔公共交通を守る闘い〕  
青い森鉄道、いわて銀河鉄道とも多額の累積赤字を抱えている。青い森鉄道へは41人の組合員が出向、人材育成と技術継承が問題になっている。盛岡以北の並行在来線は、生存権、環境、物流などに関わる大切な路線であり、設置されている青森・岩手両県の「対策会議」や本部と連携し